

第5回 再処理・リサイクル部会セミナー プログラム

(2007.6.12 確定)

テーマ

「再処理本格操業と次世代サイクルシステムの確立に向けて」

目的

六ヶ所再処理工場は、アクティブ試験(AT)進捗から本年中に操業開始を予定している。また、日本原子力研究開発機構は、FBRサイクルの確立に向けた研究開発の調査研究を新規段階に進めている。さらに今後予想されるエネルギー情勢と環境問題などの国際動向からも核燃料サイクルをめぐる動きは、着実に進化している。このような状況の中、現在の核燃料サイクル技術の実績と研究開発動向を把握し、次世代サイクルシステムへの進め方を議論する。

記

○日 時 平成 19 年 6 月 21 日 (木) 9:50～18:10 (開場 9:20)

○場 所 東京大学武田先端知ビル 武田ホール

○会 費 (懇親費込み)

学会員 10000 円／非学会員 15000 円／シニア 5000 円／学生 無料

○申込先 再処理・リサイクル部会運営委員 松村 達郎 (JAEA)

E-mail : matsumura.tatsuro@jaea.go.jp

○プログラム

開会 (総合司会 (幹事) 天野) 9:50

1. 開会挨拶 田中 知 (部会長) 9:50～10:00

2. 特別講演 10:00～10:50

「わが国のバックエンドの未来像」

…………… 秋元 勇巳

(日本原子力文化振興財団理事長)

3. 技術講演 10:50～11:40

「放射性廃棄物の処分サイドが考えるインベントリー評価」

—再処理工場運転と廃棄体処分との関連—

…………… 北山 一美

(原子力発電環境整備機構技術部長)

昼食 11:40～12:30

4. (テーマ1) 六ヶ所本格操業に向けて 12:30~14:10
(座長) 中村 裕行 (JNFL 再処理事業部再処理計画部長)
(1) 六ヶ所再処理工場の概要
向原 進 (JNFL 再処理事業部部長)
(2) アクティブ試験の状況
青柳 春樹 (JNFL 再処理工場技術部長)
(3) 試験運転で発生した不適合
朝日 隆一 (JNFL 再処理事業部品質管理部長)
5. ポスターセッション (Coffee Break) 14:10~14:50
6. (テーマ2) 次世代サイクルシステム開発 14:50~17:00
(座長) 井上 正 (副会長)
(1) FaCT 全体計画と諸外国との協力について
船坂 英之 (JAEA 次世代部門再処理システムユニット長)
(2) FaCT 再処理技術の開発状況について
中村 博文 (JAEA 次世代部門再処理システムユニット
再処理システム GL)
(3) FaCT 燃料製造技術の開発状況について
滑川 卓志 (JAEA 次世代部門再処理システムユニット
燃料製造システム GL)
(4) 次世代サイクルシステムに関連する技術開発
湊 和生 (JAEA 基礎工学部門燃料・材料工学ユニット長)
7. (テーマ3) 東海、六ヶ所の実績経験と次世代サイクルシステム開発
の連携 17:00~17:45
(モデレーター) 野村 茂雄 (JAEA 核燃料サイクル工学研究所長)
竹下 健二 (東京工業大学資源化学研究所准教授)
井上 和誠 (日揮 (株) フェロー (原子力分野))
中村 裕行
中村 博文
8. ポスター賞表彰 17:45~18:00
9. 閉会挨拶 18:00~18:10
懇親会 18:10~

以上

第5回再処理・リサイクルセミナー ポスター発表の募集
(平成19年6月21日(木)、東京大学武田先端知ビル 武田ホール)

1. テーマ「再処理本格操業と次世代サイクルシステムの確立に向けて」
2. ポスターボードサイズ：横90cm×縦180cm
3. 準備時間：9：20～9：45および11：40～12：30
4. 発表時間：14：10～14：50
5. テキスト用資料：ポスター発表の内容を示すもので、様式任意、枚数任意。
ただし、A4縦の用紙とする。テキストは白黒印刷されるので注意。
6. 応募締め切り：平成19年5月31日
7. テキスト用資料締め切り：平成19年6月11日必着
8. ポスター発表の表彰
優秀な発表数件に対して、部会からの表彰を行ないます。
9. 応募先
再処理・リサイクル部会運営委員 日山 伸行（原燃工）、hiyama@nfi.co.jp
再処理・リサイクル部会運営委員 大場 一鋭（三菱マテリアル）、june21@mmc.co.jp